

別記  
第1号様式（第14条関係）

### 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	令和5年7月26日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都港区芝浦三丁目1番1号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） サントリープロダクツ株式会社 代表取締役社長 吉村孝博 代理人 宇治川工場 執行役員工場長 山本幸夫

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	I S O 1 4 0 0 1
適 用 範 囲	清涼飲料水、乳飲料の製造
導 入 年 月 日	2006年12月9日
認 証 番 号	E M S 5 1 0 9 6 1
基 本 方 針	5項目を環境マネジメントシステム（以下EMS）の推進により実行：①水のサステナビリティの追求②多様で豊かな生態系の保全と再生③循環経済の推進④脱炭素社会への移行⑤社会とのコミュニケーション（2022年改訂）
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	炭酸ガス排出量抑制（2022年）：CO2原単位 前年実績59.3→目標58.7kgCO2/KL（1%削減） 既存ライン（缶、小ペット、バグインボックス、無菌ペット）の稼働率向上による無駄なエネルギー使用を削減し生産数量を増加させる。
目標を達成するための取組の内容	既存ライン（缶、小ペット、バグインボックス、無菌ペット）の稼働率向上による無駄なエネルギーを削減し生産数量を増加させる。 太陽光発電設備の導入と再生可能エネルギーのクリーン電力購入による炭酸ガス排出量の削減。
目標を達成するための取組の進捗状況	既存ラインのトラブル抽出と対策実施、エネルギー使用状況を監視し、無駄の削減を実施。太陽光発電設備の導入。再生可能エネルギーのクリーン電力購入の実施。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	計画に沿って対策を実施。生産数量の増加（予算比107%）。エネルギー使用量の削減により、原単位の目標を達成することができた（目標58.7に対し実績54.6CO2/KL 達成率106%）。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関係法規の遵守状況について1ヶ月に1回の確認を行っている。また、これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、1年に1回マネジメントレビューを実施している。 令和4年度は、現行の取組内容により一定の成果が見られたことから、令和5年度も同一のシステムにより運用予定。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。